

## 探訪 チャレンジ企業 76

### 地球を耕す芸術家 株式会社田中建設：能美市

今回は環境型企業を目指している株式会社田中建設（能美市）をご紹介します。

当社は平成六年三月に創業し、平成十三年に土を再生するリサイクル事業部を立ち上げました。以降、産業廃棄物処分業の許可を取り、公共工事などから発生する建設発生土を改良土や防草土として商品化するなど、土のリサイクルに取り組んできました。

平成二十一年には、新たに緑化事業を立ち上げ、土のリサイクル事業により付加価値を持たせました。これにより、

土木工事業を環境に配慮しながらトータルで行うことができるようになりました。

また平成二十二年には、県の建設業複業化の認定を受けただけでなく、当社の防草土を組み合わせた「防草緑化工法」が石川県建設新技術の認定を受けるなど、より環境にやさしい企業を目指し頑張っています。

#### 一 環境型社会への取り組み

道路や河川整備の事業を行う中で、「当社の技術で雑草の繁殖を抑制し、県が負担を強いられている道路や河川の維持管理費を削減できないか？」という考えがきっかけとなり、防草土を開発しました。



ヒメイワダレ草の施工例

その際、環境意識の高まりや、環境型社会構築への取り組みが活発化していることが

ら、「誰もが処理に困る汚泥などの産廃を利用して、循環型社会に適應し、緑豊かな地域を創造する」をコンセプトとしました。

最初の取り組みとして、リサイクルによる防草土開発のために廃棄物処分業の許可を取得しました。その後、試行錯誤を繰り返しながら、鶴来浄水場から排出される浄水汚泥を当社独自の手法により再資源化し、防草土の開発に成功しました。

防草土の開発成功により、今度は防草土の活躍の場を考えることになりました。防草土を利用すれば、効率的に緑化事業が行えると考えましたが、草木の繁殖抑制力が強く、難しいことがわかりました。しかし、調査をすすめる中で、ヒメイワダレ草は、防草土でも育つことがわかりました。

こうして、防草土とヒメイワダレ草を利用した「防草緑化工法」による、環境型企業としての挑戦が始まりました。

#### 二 防草緑化工法

防草緑化工法とは雑草を抑制しながら特定の植物で緑化する技術で、当社では防草土とヒメイワダレ草を用いて行なっています。

防草土は、鶴来浄水場の沈

殿浄水汚泥を主成分とした、雑草の繁殖を抑制する土で、当社の主力商品として十年の実績があります。



建設発生土の改良現場

ヒメイワダレ草は種子が結実せず、ほふく茎の各節から分枝して急速に繁殖することが特長で、五月から九月にかけて可憐な花を無数につける草丈の低い草です。一面を覆えば他の雑草の抑制効果があることから、緑化事業に広く利用されています。また、カメムシ等の不快虫の発生を抑える効果もあってされています。

この二つの商品特性を組み合わせたものが当社自慢の防草緑化工法で、道路や水路の



田中社長

法面、道路の中央分離帯・植樹帯や公園などの緑地、その他庭先など多くの場所に活用の用途があります。

#### 三 今後の展開

当社は「もったいない精神」で産廃リサイクルや緑化に取り組み、防草緑化工法を通じて社会に貢献したいと考えています。

また、近年「いしかわ事業者版環境ISO」の取得や「エコアクション21」に取り組みなど、環境に配慮した取り組みも行い、現在は「里山創成ファンド」の認定を目標として掲げています。

今後も社会の一員であることを忘れず、豊かな社会に向けた商品開発に挑戦し続けたいと考えています。

（お問い合わせ先）

株式会社 田中建設

〒九二三-1123

能美市上清水町夕七〇番地一

TEL 〇七六七-511788

FAX 〇七六七-511788

e-mail: info@tanakaken.com

http://www.tanakaken.com

（取材：県連合会経営支援課

専門経営指導員 森 達朗）

このコーナーでは石川の「チャレンジ企業」を応援しています。取材を希望される方は最寄りの商工会にお尋ねください。